

統計学基礎 受講上の注意 (2010 年度版)

担当者：河田 正樹

講義の目的と進め方

この科目は統計学のもっとも基礎的な部分を学ぶ科目です。ある集団のデータについて、数値やグラフでその特徴を記述する、記述統計の手法を中心に学びます。

- 講義形態：講義 + 紙と鉛筆による演習 + PC による演習 の形式をとります。PowerPoint を用いた説明と、その内容を定着させるための練習問題をおこないます。何回かごとに、Excel を用いた演習をおこないますので、その時はノートパソコンを持参してください。
あまり難しい内容は扱いませんが、よく手を動かしてもらいます。
- 出欠：講義開始時にカードで出席をとります。また、遅刻者には講義終了時に別のカードを配ります。講義回数の 3 分の 2 以上の出席がない者は、期末試験を受験できません。出席は成績に若干加点・減点しますが、詳しくは下の「成績評価について」の項で説明します。
- 授業中のマナー：携帯はマナーモードにしてください。練習問題や Excel の演習の際は、隣の人と相談しながらおこなうことはかまいませんが、説明のときの私語はつつしんでください。

成績評価について

基本的には、講義の中で何回か出される課題(合計 40 点満点)と期末試験(60 点満点) の合計で評価します。それ以外に、状況に応じて、臨時ボーナスをだすことがあります。

出席点は次のような方式で算出し、加減します。

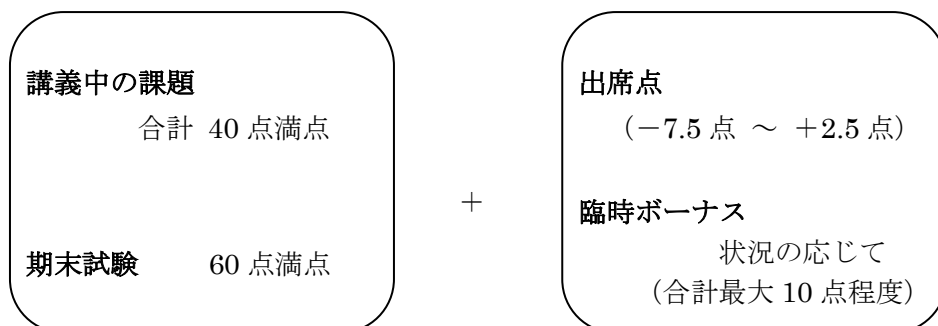
$$\text{出席点} = (\text{通常出席回数} \times 1 + \text{遅刻回数} \times 0.5 - 25) \times \frac{1}{2}$$

(例) 26 回通常出席し、2 回遅刻した学生がいた。出席点 = $(26 \times 1 + 2 \times 0.5 - 25) \times \frac{1}{2} = 1$

(例) 21 回通常出席し、3 回遅刻した学生がいた。出席点 = $(21 \times 1 + 3 \times 0.5 - 25) \times \frac{1}{2} = -1.25$

基本点(計 100 点満点)

加点・減点



以上の合計点が下のいずれかによって成績評価します。

優 80 点以上 良 70 点~79 点 可 60 点~69 点 不可 59 点以下

使用テキスト

随時 PowerPoint スライドのハンドアウトを配布します。スライドは講義用 HP にもおいてあるので、ハンドアウトの文字が小さい人は、各自プリントアウトして用いてください。

講義とほぼ同等の内容を扱う以下の参考書をあげておきます。欠席の内容を補ったり、講義中の説明で十分理解ができなかった場合などに使用してください。この科目で扱う内容は、これらの参考書の一部分です。(この科目と 2 年次の「統計学」ではほぼすべてをカバーします)

- 松原 望 (2009)『わかりやすい統計学』(第 2 版) 丸善 1890 円
- D.ロウントリー(加納 悟 訳)(2001)『新・涙なしの統計学』新世社 1680 円
- 西尾 敦 (2006)『グラフィック統計学』新世社 2520 円
- 佐竹 元一郎・野口 和也 (1994)『統計理論入門』中央経済社 3059 円
- 宮川 公男 (1999)『基本統計学 (第 3 版)』有斐閣 2835 円
- 森田 優三・久次 智雄 (1993)『新統計概論 改訂版』日本評論社 3570 円
- 高橋 信(2004)『マンガでわかる統計学』オーム社 2100 円

(マンガなので十分な説明がされていない面がありますが、統計学の大まかなイメージをとらえるには良いかもしれません。)

質問等

講義時間中の疑問はその場で解決するようにしてください。わからないことがあったら遠慮なく聞いてください。

講義時間中以外に質問がある場合には、**514 研究室**を訪ねてみてください。また、オフィスアワーは木曜日の 3 限です。

また、e-mail での質問も随時受け付けています。アドレスは kawada@tokuyama-u.ac.jp です。

講義用ホームページ

事務連絡、出席状況、課題提出状況、関連 HP などのさまざまな情報を講義用 HP に掲載します。コンピュータ室や自宅から閲覧してください。

アドレスは <http://www2.tokuyama-u.ac.jp/kawada> です。

※ そのうち Webclass 経由でも同様の情報を入手可能にする予定です。